

学年	科	コース	教科	単位数	担当者
1	全科		工芸 I	2	辻
担当者(担当クラス)		1組2組3組4組5組6組7組			
この科目を履修するための条件や準備					
日頃より芸術・工芸に関心を持ち観察するよう心がける。					
この科目のねらい 目標					
工芸の幅広い創造活動を通して美的体験を豊かにし、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、工芸の伝統と文化についての理解を深める。					
具体的な指導方法					
板書し本時行うことを確認、理解させる。制作開始時見本としてデモンストレーションを行う。					
使用教材					
使用する教科書			使用する副読本		
工芸 I 116 日文・工 I 301					
評価方法					
学習活動への参加状況や態度、作品の提出					
年間授業計画					
I. 1学期中間考査まで					
工芸について学ぶ。美術と工芸の違い。 ・色彩を学びそれを生かす組紐の制作→4、5月の自宅課題と1学期末考査後の補充授業で対応する。					
II. 1学期期末考査まで					
素材について学び、モノづくりのデザインについて理解し表現する。安全な道具の使い方。 ・日常で使う道具の制作					
III. 2学期中間考査まで					
使用する道具の説明。デモンストレーション。 ・金属を使ったデザインプレートの制作					
IV. 2学期期末考査まで					
・金属を使ったデザインプレートの制作 ・仕上げの種類(鏡面仕上げなど)					
V. 学年末考査まで					
木という素材に親しみ、使いやすさ切りやすさに考慮し制作する。 ・ペーパーナイフの制作。					